

今年の「青少年文化体験フェスタ」

「青少年文化体験フェスタ」は、伝統文化の継承や青少年の健全育成に資することを目的とした、文団連発足以来の自主事業です。今年度は、4月の理事会で以下のとおり進めることになりました。

第6回 青少年文化体験フェスタ

- ・日程：7月10日（土）
- ・会場：入間川小学校

今後、実行委員会の下で具体化を進めます。今後ともご理解とご支援をよろしくお願い致します。

第5回文化体験フェスタ（昨年12月）



地域子ども教室推進事業について

平成16年度から文部科学省の委託事業「子どもの居場所づくり新プラン」による、「地域子ども教室推進事業」が始まります。

狭山市では、生涯学習課の担当で入間川小学校・堀兼小学校の2校が対象となり、子ども達の体験学習ができる「居場所づくり」のため、小学校の教室や校庭を利用し、週末または放課後にスポーツや文化活動など様々な体験活動が行われる予定です。

この実行委員会に、文団連から副会長の横山千枝子さんが、校区企画委員として板屋捷子さんが、また教育委員会の推薦で「おやこ劇場」の岸野智子さんがコーディネーターとして活躍されます。今後、文化体験の部分で各団体へも協力依頼があるかと思われます。

「生涯学習を進める狭山市民会議」レポート

平成15年度メンバー 角南 一成

文団連の推薦を受け、「生涯学習を進める狭山市民会議」（以下、市民会議と略記）の委員として平成14年8月より1年半勉強させていただきました。

市民会議は、狭山市の生涯学習を総合的に推進する審議会的な組織で、各団体の代表者や学識経験者、市長、教育長などから構成され、年数回の会議でしたが、私は生涯学習ボランティア活用専門部会員として、自治会単位で置かれている「生涯学習推進員」と連携し、「生涯学習ボランティア」のさらなる活用などについて提言しました。

1年半の活動を通じて、市が進める生涯学習事業の動向にじかに接するとともに、他市の生涯学習を通じた「まちづくり」などの情勢も見学する機会をえました。

今年度から市民会議も、所沢市・入間市のような市民主体の推進組織をめざすとのこと。今年はその「設立準備会」が動きだします。

市民から一般公募で準備委員を募るそうです（「広報さやま」5月10日号掲載予定）。文化活動を広く「生涯」を通じての学びの過程として捉える文団連会員からも、ぜひ立候補し、活躍することを期待します。